

「がんばれ」の声に 盛り上がる餅つき会 (もりやまこども園)



秋田県五城目町 朝市と城のある町 みんなの町議会

主な内容

- Contents
- 12月定例会の概要／年頭のあいさつ … 2～3
 - ごじょうめ子ども議会 …… 4～5
 - 一般質問に9名登壇 …… 8～17
 - 議員研修報告 …… 19～20
 - わたしの居場所・がんばってます …… 22

No.165
2026.1.1

2026

あけまして

おめでとうございます

(森山頂上からの雲海)



全国の朝市が一堂に会し大成功

当局より令和7年度一般・特別会計補正予算案など、議案17件が上程された。

4日目 各常任委員会を開催。

最終日 各常任委員長報告のあと、全議案を全会一致で可決。陳情5件は全会一致で採択。1件は常任委員会で賛成多数で採択すべきものとし、本会議で全会一致で採択した。委員会提出議案6件を可決し閉会した。

12月定例会は12月8日から15日まで8日間の日程で開かれた。

初日 4件の議員研修報告の後、荒川町長は行政報告で、

- ごみ処理広域化
- 林野火災対策
- 健康調査実施状況
- 熊出没対応
- 災害復旧

○全国朝市サミット開催報告

○上下水道料金改定

などを述べた。

2日目 一般質問に6名が登壇。五城目町のこれからに向けて、恋地スキー場跡地の利活用、町の教育の進め方、熊対策、赤倉山荘の今後、森林活用などについて質問した。

3日目 3名が一般質問に立ち、水道事業の課題、人と地域のつながり支援、45の施策推進について質問。

議会の経過

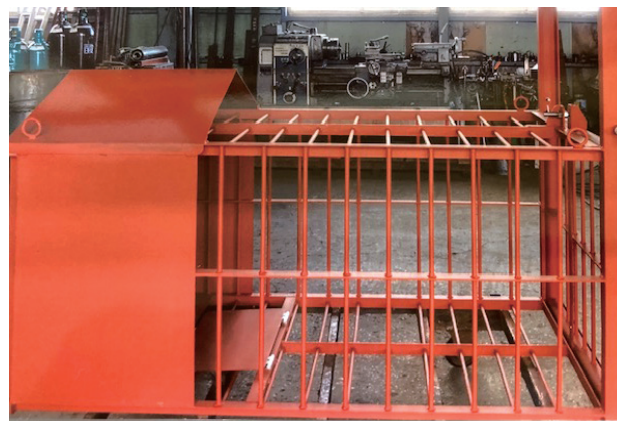
12月
定例会



今後の利活用を期待する恋地スキー場

- 五城目町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例制定について
- 五城目町恋地スキー場設置条例を廃止する条例制定について
- 五城目町水道事業給水条例の一部を改正する条例制定について
- 五城目町下水道条例の一部を改正する条例制定について

今定例会で可決した主な内容



箱わなを増やし、熊対策を強化

補正予算の主なもの

- ・財政調整基金 1億3942万円
- ・有害鳥獣対策費 554万円
- ・現年災害復旧事業(林道施設) 3892万円
- ・除雪事業 8445万円
- ・学校給食費無償化事業 2000万円

(椎名 志保)

あけましておめでとうございます。

町民の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えの事とお慶びを申し上げます。今年は午年、「午」は餅つきの「杵」を表しており昔からの暮らしの道具が漢字になったものです。馬は常に前向きに進むことから前進、発展、成長、努力の實りを象徴しています。午年の人は行動力があり、社交的で前向きな性格だそうです。一日を半分とした十二時を「午の刻」といい、午前・午後の言葉となったといわれます。歴史的に見れば大化の改新、本能寺の変も午年です。古いものを打ち破って、新しいものが生まれ出る年となるのでしょうか。

三上隆彦画伯と馬とわが町

昭和六十一年に、広く社会に貢献する文化美術活動を進め、日輝会美術協会会長である三上画伯が来町し、講演と実演会を開催しています。世界的に活躍し「馬の三上」と云われるほど、馬を描いて有名です。森山登山道には画伯命名の坂があります。特色ある個性あふれる町づくりを進める町村を厳選し、美術作品の寄贈運動を実行され、わが町にも多数寄贈いただいています。画伯がこよなく愛し、幾度となく訪れた雀館に「筆塚」が建立されています。機会がありましたら訪れてください。

平穏な日々の暮らしの中で、わが町の来し方行く先に想いをし、町民の皆様にとりまして、多幸あふるる年となりますよう祈念し、新春を寿ぎ、年頭のご挨拶といたします。



議長 石川 交三

年頭のあいさつ
笑顔がたくさん午れる年に



子どもたちの声を町政に

2025.10.14 ごじょうめ子ども議会

特集

質問① 柔軟剤・消臭スプレーの香りで体調を崩す「香害」について、町で調査や講習会を開いたことはあるか。

答弁 調査はしていないが、健康被害の可能性は認識している。講座・広報・ポスターなどで周知を進める。

質問② 香害のリスクを広く町民に知らせるため、どのように取り組むか。

答弁 公共施設への掲示、広報・ホームページでの周知を行う。

質問① 昨年提案した熊対策のドローン活用や猟友会の日当の値上げなど、進捗はどうか。

答弁 箱わなセンサーを導入し、猟友会の負担軽減を図っている。ドローンは町内事業者が開発中で、完成後に導入

を検討する。また、令和8年度は猟友会の日当の値上げも予定している。

質問② 熊を地域資源として活用し、料理や特産品づくりにつなげることは可能か。

答弁 解体資格保有者の確保や加工所の設置などの条件を満たす必要があるため、関係機関と連携しながら検討していく。

質問① 校則は学校生活の中でどのような目的でつくられ、それが勉強にどう影響を与えているか。

答弁 校則は児童生徒が健全な学校生活を送るための決まりであり、服装・生活・行動など学校の判断で定められている。勉強に集中できる環境づくりのためにも校則は必要と考えている。

質問② その校則が、現状にそぐわないこともあるのではないか。

答弁 生徒会などで声をあげ、学校全体で話し合いを行っていたとき、校則の見直しに繋がるよう訴えかけをお願いしたい。

挙手など議会のやり方をすべて踏襲

質問① 町の祭りやイベントには、どの年代の子どもがどれくらい参加しているか。

答弁 年代別の統計は取っていないが、きょうこまつりや大名行列は家族連れや、児童生徒が多い印象となっている。

質問② 中高生が参加しやすくするため、子どもが意見を出せる意見箱を学校・公共施設に設置できないか。

答弁 児童生徒の意見を大切に受け止め、意見箱の設置について前向きに検討する。

質問① 富津内川の工事の進捗状況について教えてほしい。

答弁 県の工事は今年の11月頃から始まり、令和9年度までの3年間で完成予定。着工状況はホームページで周知する。

質問② 工事までの間、住民が安心できる対策はあるか。

答弁 応急対策として、河川内の木の伐採や土砂の撤去を県に要望中。町では冊子版・WEB版ハザードマップを作成予定。

質問① 町内に子どもの遊び場となる室内施設は何ヶ所あるか。

答弁 町が所有する室内遊び場は現在ない。民間として「た

んの声を大切にして、よりよい学校生活を送るためのルールづくりをお願いしたい。

質問① 子どもが地域の高齢者と交流できる場はあったか。

答弁 職場体験や敬老会などの行事での交流はあったが、地域での交流はなかったようだ。

質問② 土日などに子ども食堂のような形で食事やスポーツを楽しみ、世代交流を深める場をつくりたいので協力してほしい。

答弁 皆さんのアイデアを尊重しながら、企画や運営に協力していきたい。

質問① どのような少子高齢化対策を行ってきたのか。

答弁 保育・子育て支援を充

だのあそびば」「こどもの木」がある。

質問② 雨や熊の心配なく遊べる室内公園を空き家活用などで整備できないか。

答弁 空き家活用は多額の修繕費がかかり困難だが、子育て支援の相談や複合遊具も設置された総合支援施設の建設を検討していく。

質問① 町内に大きな遊具のある公園がないが、整備する予定はあるか。

答弁 雀館公園に子育て総合支援施設と複合遊具を併設した公園整備を検討しており、実現に努める。

質問② 大きな公園ができれば観光客増加にもつながる。整備にあたり町の考えはどうか。

答弁 アスレチック遊具などを備えた公園は町外からの来訪にもつながり、魅力向上が期待できるため、町民の皆さんとの意見交換を行い、喜ばれる施設建設を目指す。

実させ、若い世代が住み続けたいと思える環境整備を進めている。高齢者には交流や介護予防の場を提供し、誰もが暮らしやすい地域を目指している。

質問② 朝市で子どもが出店する機会を作るのはどうか。

答弁 金銭管理・事故対応・食品衛生など多くの課題があるが、児童生徒の朝市出店は歓迎。町商工振興課まで、ご相談ください。

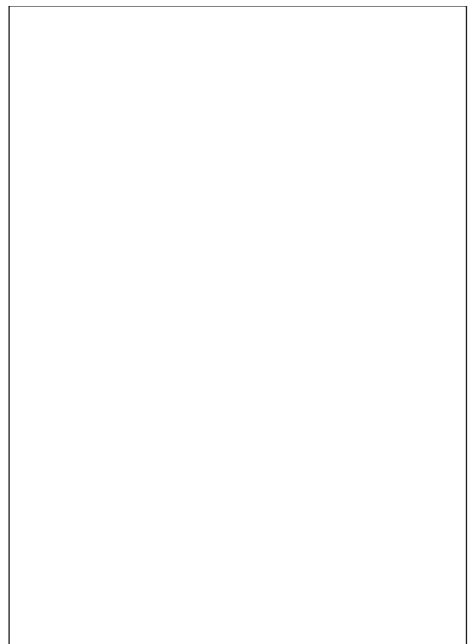
実させ、若い世代が住み続けたいと思える環境整備を進めている。高齢者には交流や介護予防の場を提供し、誰もが暮らしやすい地域を目指している。

質問② 朝市で子どもが出店する機会を作るのはどうか。

答弁 金銭管理・事故対応・食品衛生など多くの課題があるが、児童生徒の朝市出店は歓迎。町商工振興課まで、ご相談ください。

議場で未来について語りあう

子どもの育ちを応援



保護者の就労にかかわらず利用可能

令和8年度から実施予定の『こども誰でも通園制度』に対応するため、設備や運営の基準を定める条例を制定。

委員から「利用希望者が多い場合、保育士の配置は十分に確保できるのか。どの程度の利用が見込まれるのかなど、事前のニーズ調査は行われているか」と質疑があり、当局から「保育士の増員や利用見込みについては現在協議中。まだ不明瞭なことも多いため、今後ニーズ把握を行う必要がある」と答弁があった。

また、「利用料は無償となるのか」との問いに「原則として無償とする方向で検討しているが、町外からの利用者をどのように扱うかなど調整が必要」と答弁。「先行事例を見ると、協議しなければならぬ事項が多い。こども園と協議を重ね、不安なくスタート出来るよう体制を整えてほしい」と委員から指摘があった。

楽しく介護予防

た。65歳以上の町民が、対象事業の健康教室やサロン活動に参加すると1回につき10ポイントが付与され、100ポイントためると町内で使える500円分の商品券が進呈される仕組み。

委員から、男性の参加者が5%と低い点について質疑があり、当局から「男性も参加しやすいプログラムを導入を検討し、参加促進を図る」と答弁があった。また、「ポイント対象事業を拡大するなど、多様な人が参加しやすい仕組みを整え、介護予防をより一層促進してほしい」と指摘した。

林野火災予防強化へ

令和7年2月に大船渡で発生した林野火災を受け、火災予防を強化するため、林野火災注意報・警報の的確な発令や火の使用制限、火災と紛らわしい煙を発する行為（焚き火を含む）届出規定を整備。

委員から「野焼きや稲わらの焼却も規制や指導の対象になるのか」の問いに、当局から「家庭ご

みの焼却は廃棄物処理法により違法。農業に伴う稲わらなどの焼却は、県の公害防止条例により原則禁止。特に10月1日から11月10日を焼却禁止期間と定めている。消防としては、火災予防上の危険がある場合は消火や指導を行う」と答弁があった。

（佐沢由佳子）

教育民生 常任委員会

水道料金値上げ 五城目、馬場目、杉沢の料金統一

人口減少による水需要の減少、管路の老朽化や耐震化対策、浄水場の改築など、維持管理費や建設改良費の増加が今後見込まれる。また、水道事業会計において、平成29年度から8年連続赤字決算であったことから、黒字化を目指し料金改定するものである。

水道料金の条例改正は、基本料金と超過料金を平均約60%引き上げるもので、3年の経過措置期間（令和8年度から令和10年度まで3度料金改定）を設定し、負担軽減を図りながら料金改定を行うものである。

委員から「令和8年5月から令和9年4月までの水道料金となっている。1年間のみの適用か」の質疑に「料金表は経過措置1年目のもので2割、令和9年5月から更に2割上昇した料金。3年目となる令和10年5月からは、6割上昇した料金で運用する」と答弁があった。

改正水道料金表（税抜き）

恋地スキー場が廃止

平成17年から休業している恋地スキー場がその利用が見込めないことから、今年度をもって設置条例を廃止する。

委員から「廃止理由と今後の利用は」の質疑に、当局から「交付金による制約が昨年12月で切れたこと。また、雪祭りなどに利用することは可能であり、オフロードパークやスリーアイバードの利用は今後も可能」と答弁があった。

思い出深い恋地スキー場

（石川 重光）

総務産業 常任委員会

クマ対策費を拡充

有害鳥獣対策費として554万円補正計上された。

委員から「具体的な内訳は」

箱わなを設置する自衛隊の皆さん

の質疑に「箱わな代、アニマルセンサー代、無線機代、イノシシ用囲いわな代、猟友会への報酬である」「今までの単価をわなの設置2,000円、見回り1,000円、出動3,000円、捕獲4,000円、解体3,000円に切り替え、遡って報酬を支給したい」との答弁であった。また、委員から「クマ対策に関連する苦情電話はあったか」の問いに対し、「農林振興課、総務課にそれぞれ1件あった」との答弁。

小学校入学までの町内定着率は

町長 3年前63%、直近は73.8%

松浦 教育留学や多拠点居住希望者から「五城目に住みたいのに家がない」という声がある。五城目で生まれた子どもが、小学校入学までに町外へ流出する割合はどれだけか。住まいの確保や子育て支援の拡充は、どのようにするのか。

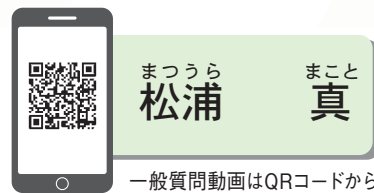
町長 住まいの確保前進に努める。町内定着率は3年前は63%、直近では73・8%と改善傾向にある。

松浦 令和5年のデータだと五城目で生まれても3人に1人は、いなくなっている。子育て世代、その未就学児に対する手当や対策が手薄ではないか。

健康福祉課長 今のところ対策はできる限り行っていると考えている。病児保育も、来年度に向けて保育園と対応協議を進めている。

あなたにかわって聞きました

一般質問



子ども議会の提案をどう活かすか

松浦 子ども議会では「ドローンによるクマ対策」や「意見箱の設置」など、素晴らしい提案があった。形式的な答弁で終わらせず、予算化・実現化すべきでは。特に「意見箱」は、先生のチェックが入らない第三者が対応する仕組みの導入を。

教育長 提案の「意見箱」は、第三者的な対応ができるよう前向きに検討する。ドローン対策については技術開発を注視する。

こどもの意見を現実

大川堤防の修復状況は

松浦 大川地区の堤防工事の遅れに不安の声が上がっている。現状は。

町長 故障していた水門は、県へ要望している。令和8年2月頃を目処に修繕する予定と回答があった。

1回目の入札は9月11日に公示したが、期間内に入札がなかった。2回目は11月20日に公示、12月16日までの申請期間で、現在進められている。現場にJRの陸橋があり、非常に難易度が高いため、県では施工ステップを添付して施工業者に不安がないよう工夫し、再度入札を募っている。落札されれば12月の契約となり、工事は3月頃の着手。工事期間は、繰越され令和8年10月31日までの予定。

工事着手まで3年以上

松浦 職員のハラスメント対策や産業医によるメンタルチェック体制はどうなっているか。

町長 産業医を選任し、年1回のストレスチェックを実施している。ハラスメント相談員も配置し、環境改善に努める。

職場の組織風土改革を

五城目高校の魅力化と存続は

松浦 高校の要望を待つのではなく、町長自身が主体的に未来を提示すべきではないか。

町長 高校の魅力化については、私一人のスタンドプレーではなく、まずは地域・学校・振興会で協議し、方向性が定まった段階で県へ正式に提案・相談する。

一般質問

9議員が登壇 我が町政を問う

一般質問とは？

- ・年4回の定例会において、議員が町政全般について現状や方針を問うものです。
- ・答弁を含む一人当たりの持ち時間は60分で、事前通告制が採用されています。
- ・質問をするかしないかは、議員個人の判断によります。

質問者

松浦 真 議員

- 五城目町のこれらに向けて
- 水害対策と河川・樋門管理の“実働レベル”の改善状況は
- 五城目高校の魅力化について、町の“覚悟”を明確にすべきでは
- こども基本計画を「絵に描いた餅」にしないために
- 役場職員のハラスメント対策はどのように進んでいるか
- 公共交通の持続可能性をどう描くのか
- 近年激増する「クマ出没」への対応は、現状のままで本当に十分なのか

工藤 政彦 議員

- クマ出没による商店・朝市への影響への対策としての商品券配布について
- 恋地スキー場跡地の利活用について（ハート型ミニメントの設置を提案）
- 職場における男性育児休業の取得促進について

椎名 志保 議員

- 大雨による農地被害への対策を
- 教育長就任にあたり、町の教育の今後をどう考えるか。
- 今後のクマ対策は

斎藤 晋 議員

- 熊対策について
- 町の猟友会について
- 町村議会議員の報酬について

石井和歌子 議員

- 五城目の山を町づくりの柱とする
- クマの多数出没への対策は
- 赤倉山荘の今後について

小玉 正範 議員

- 赤倉山荘について
- クマ被害対策
- 町の森林活用のアイデアは
- 五城目町出身の偉人について

中村 司 議員

- 水道事業、今後の課題
- 消防広域化について

佐沢由佳子 議員

- クマ対策と安心安全な暮らしを守るには
- 人と地域のつながり支援について問う
- 教育留学での親の居場所について
- 五城目高校の向上について

石川 重光 議員

- 45の施策推進について
- 街路灯整備によるクマ被害対策を

* 誌面の関係上掲載できなかった●印の質問については、町ホームページにて議会映像を配信しておりますのでそちらをご覧ください。

五城目町議会映像配信 中 www.gojome-town.stream.jfit.co.jp



町の教育、どう進める

教育長 1人1人の意欲や満足感を十分に引き出す

椎名 小玉教育長は県内各小学校で教鞭をとっていただけでなく、沖縄県へ派遣された経験がある。いろいろな視点での教育施策を期待している。就任にあたり、これからの町の教育をどう進めていく考えか。

教育長 恵まれた学習環境を生かし、学びにおける一人一人の意欲や満足感を十分に引き出していきたい。「対面型、講義型学習からの脱却」を目指し、学ぶ意欲と確かな学力を育みたいと考える。

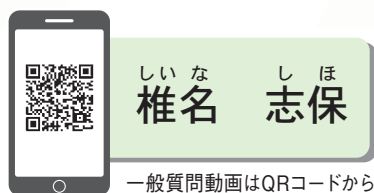
「みんなの学校」を継続、発展させ、学校教育と生涯学習をつなぎ、世代を超えた学びを創出していきたい。

椎名 秋田大学教育文化学部附属幼稚園副園長の経験から、幼小連携に対する考えは。 **教育長** 0歳から15歳まで途切れなく見守っていく必要性を感じている。「幼児期の終

あなたにかわって

聞きました

一般質問



一般質問動画はQRコードから

商品券で朝市と商店に誘客を

町長 経済対策の一案として検討中

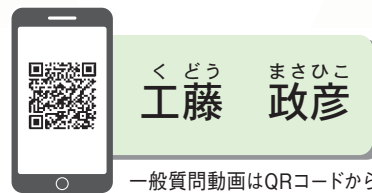
工藤 クマの出没増加で町民の不安が高まり、商店や五城目朝市の来客減少など、地域経済に影響が生じている。町民支援と商店・朝市の活性化を目的に、商品券を提案する。

朝市開催日（2・5・7・0の付く日）に限定して利用可能とし、「朝市用」と「商店用」に分けることで、朝市

あなたにかわって

聞きました

一般質問



一般質問動画はQRコードから

大雨による農地被害へ対策を

椎名 8月9日の大雨により、再び農地も被災した。支援の考えはないか。また、来春の作付に間に合うよう土砂撤去の目途は立っているか。

町長 被災による減収や収穫できなかった農地を対象に、農業者の生産意欲が低下しないよう経済的支援を検討していく。また、町内業者へ被害状況の説明を行い、来春まで

幼児教育の場でもある もりやまこども園

中長期的なクマ対策を

椎名 出没が多発するクマの駆除について、猟友会に頼らざるを得ないままではないのか。人的手立てが必要だ。また、森林の適正な管理・保全、人

毎年の冠水被害に苦しむ農地

の復旧をお願いしている。

椎名 災害後、知事が現地視察に訪れ、農地冠水対策を加えた要望を伝えている。河川から農地へ越水する具体的な場所を示し、堆積した土砂の撤去で河道を確保するなど、県に強く要望すべきだ。

町長 県から明確な回答は来ていないが、3河川の維持工事の継続を今後も要望していく。

とクマの棲み分け、ゾーニング管理をどう行っていくか。

町長 ガバメントハンターの活用を含む臨時的な人材確保を検討し、猟友会への応援体制を強化する。また、森林境界に見通しの良い緩衝帯を整備し、防除対策を行う。人の生活区域と野生動物の生息域を分離し、被害防止を図る。

椎名 児童生徒の送迎で保護者負担が増している。地区外のスクールバス利用などの検討が必要ではないか。

教育長 クマの今後の出沒状況や、冬期間のスクールバス・タクシートの運行管理と合わせ、検討していく。

椎名 クマの出没は町民の散歩の日課をも奪い、身体を動かすことの減少は介護予防の低下を招いている。広域体育館を開放し、インターバル速歩に取り組んではどうか。

教育長 12月8日より一部施設を無料開放しており、利用可能日時やルールをホームページや掲示で周知していく。インターバル速歩は健康福祉課でも実施に向け検討している。各地区公民館も無料開放しており、個々の体力づくりや交流、子どもの居場所として利用してもらいたい。

恋地スキー場跡地の活用を提案

工藤 「恋地」という名称が持つロマン性や、周辺に点在する地域資源を活かせば、観光拠点としての可能性は高いと考える。人が中に立てる高さ2・5メートルのハート型モニュメントに「幸せのベル」を設け、訪れた人が幸

への誘客と町内経済循環を同時に生み出す仕組みにしてはどうか。

町長 朝市や町内商店で利用できる商品券については、町内経済の循環を促す即効性のある施策として評価し、重点支援地方交付金などを活用した経済対策の一案として検討している。一方で、商品券発行は物価高騰対策などの経済支援策として位置付け、クマ対策としての安全確保とは切り離して考える。

工藤 朝市と商店街を連携させ、町全体の経済が循環する仕組みづくりは、本町にとって重要な課題である。活用する制度や期待される効果を含めた具体的な方針を示すことが不可欠。地域経済を前に進める明確な取り組みを求む。

福を願う体験ができる象徴的な観光スポットとして整備する考えはないか。

町長 恋愛をテーマとした整備は観光振興の可能性がある一方、スキー場跡地は安全面に課題があるため、まずは安全対策を優先する。現時点で観光地化の方針はないが、跡地利活用の一案として検討していく。

恋の地「恋地」で幸せに（イメージ図）

職場における男性育児休業の取得促進を

工藤 男性の育児休業取得は依然として男女差や職場環境の課題が残る。町内企業や町職員の取得実態をどう捉えているか。今後、企業支援や職場環境整備を含め、「男女がともに仕事と育児を両立できる町づくり」をどのように進めていくのか。

町長 町内企業の取得実態は把握できていない。町職員については近年高い取得率である。今後は少子化対策と一体で男性育休を位置付け、職員体制の充実や働き方改革を進める。商工会や関係機関と連携し、企業への周知や支援を通じて男性の育児参加を促進していく。

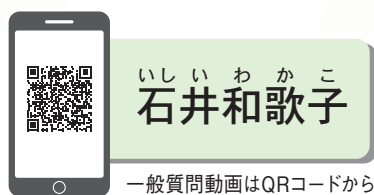
工藤 男性育児休業の促進は、働きやすさと子育て環境の充実を通じて、将来の担い手を育む重要な課題である。町内企業の実態把握と現場に寄り添った支援を進め、男女がともに育児と仕事を両立できる環境整備が必要だ。五城目町が将来にわたり選ばれる住みやすい町であり続けるため、実効性ある取組を期待する。

五城目の山を まちづくりの柱に

町長 山を核の一つとするまちづくり
の可能性を探る

あなたにかわって
聞きました

一般質問



一般質問動画はQRコードから

石井 岡山県西栗倉村の。百年の森林構想。のように、当町も山を中心としたまちづくりを考えることが必要ではないか。

町長 山を核とした町づくりは、持続可能な地域づくりと

みんなの宝である町の山々

町長 教育的価値と地域資源の継承を両立させるプログラムとして、町が森林組合などと連携し、安全教育を徹底の上、学校教育との連携を図ることが必要であると考えている。

クマ多数出没への対策は

石井 町内を通る高速道路の法面の植栽が生い茂り、クマが移動する際の通り道や隠れ

友愛館（冬期休業中）も内容によっては利用可能

る場所となっている。やぶ払いや草刈りをネクスコ東日本に依頼してはどうか。

町長 確認したところ雑草は年に1、2回草刈りを実施している。大きな樹木は風よけ対策による植樹のため伐採は難しいとの回答である。

石井 散歩やジョギング、畑仕事など外での活動が制限され、町民の多くが運動不足やストレスが溜まる生活を強いられている。体育館や公民館の無料開放が開始されたが、期間を延長することを提言する。

赤倉山荘の今後について

石井 指定管理者である東北ダイケンとの契約が切れた後の経営について、存続を希望する声がある。秋田市内や上小阿仁村など町外からの利用もあり、今後について何か良い策はないか。11月25日の検討会の内容は。

町長 住民代表・利用者・有識者からなる存廃検討会では、全国的にも貴重な泉質の温泉であり、町の資源として残すべきとの意見が多くあった。耐震基準を満たしていないこともあり改修は難しい。この先何年使用できるか不安であるとの見解もあった。存廃について今年度中に方針を示す。

心に残る ところみの湯

熊による被害者の数は

町長 被害者は5名

あなたにかわって
聞きました

一般質問



一般質問動画はQRコードから

斎藤 猟友会で実際に活動できるのは何人か。

町長 全体で34名（五城目支部21名・馬場目支部13名）であるが、実際に活動できる人は、5〜10名程度である。

斎藤 猟友会に対する補助金・報酬は幾らか。

町長 当初予算では約170万円の補助金を計上している。12月補正で554万円を計上した。

斎藤 町民の安全・安心のため、熊災害に対し、町長の思い・意気込みを。

町長 猟友会・警察・自衛隊・消防団の皆様から敬意を表する。熊の出没数は248件、捕獲数は79頭、ケガをされた方は5名。熊の出没に際しては、警察・猟友会と連

猟友会と自衛隊と一緒に活動

携し、現場対応にあたる。また、箱わなを増設する。

情報発信の周知を図るため、防災無線に加え町公式ラインを立ち上げ、これからも巡回広報を行う。また、里への出没を防ぐため、緩衝帯の整備・管理強化ゾーンの設定が必要。熊の居場所となりやすい空き家・空地・誘因樹木の管理なども重要である。国・県と連携強化を図り、財源確保と事業の推進に努める。

町議会議員の報酬は

斎藤 町議会議員の報酬は、県議会議員や市議会議員の報酬と比べて高いのか低いのか。

町長 県議会議員の報酬月額は78万円である。市議会議員の報酬月額は、62万5千円から27万円まで、平均37万6千円である。町の議員報酬月額は23万5千円である。最低賃金の引上げや議員のなり手不足問題などを考慮し、多方面から検討を進める時期であると認識している。

熊注意のポスター

新浄水場の整備計画は

町長 令和15年度までに整備予定

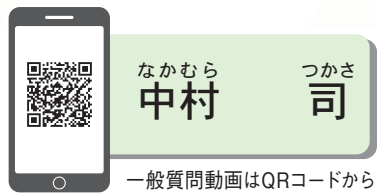
水道事業、今後の課題

中村 能登半島地震で広範囲かつ長期の断水が発生したことから、あらためて耐震化の遅れと重要性が認識された。国交省では、水道事業の運営基盤強化が必要として、「水道カルテ」を公表、耐震化を加速せよとしている。町の管路の老朽化・耐震化への対応は。

町長 耐震化対策については、ほぼ進んでいない。基幹管路や避難所となる施設への配水管について、優先的に老朽化対策と合わせた耐震化対策を実施していく。

あなたにかわって聞きました

一般質問



中村 新浄水場の改築計画の有無、進捗状況は。

町長 水道ビジョン計画最終年度である令和15年度までに整備する計画である。改築にあたっては

- ①現在地での改築
- ②移転改築
- ③取水及び浄水施設などの長寿命化
- ④周辺事業体との広域化などの調査を行い、整備手法・概算費用・財源確保について検討する。

応急対策でしのぐ浄水場

消防広域化どうする

中村 県では消防の連携・協定や広域化は、本県独自の事情など、効果の検証を行いなから検討・協議を進める必要があるとしている。一方、当町消防本部職員数は現在29人。職員50人以下の消防本部は「特定小規模消防本部」とされ、広域化を実現させるべき地域とされているが町の考えはどうか。

町長 当町消防本部の職員数は消防力の整備指針に基づく目標59人であり、令和11年度までに段階的に34人とする計

最少人数で最大の防御を

画である。当町では、原則、消防隊2隊と救急隊1隊を常に配置し、限られた人員で効率的に対応している。

中村 職員不足から、運用面や各種研修への派遣制限、女性消防士採用に伴う設備面の不具合や有給休暇が取得しにくいなど、福利厚生面で課題はないか。

町長 適切に消防業務を遂行している。また職員間の意思疎通を図り、職員の士気を高め、円滑に組織運営することを目指す。消防組織法に基づく「消防職員委員会」を毎年開催、福利厚生や装備品の要望などの課題解決に取り組んでいる。

中村 単独消防である当町は、人口減少と高齢化に加え、消防体制の維持・強化に係る財政負担が重くなることは明らかである。

町長 広域化の是非、町長の考えは。

町長 当面現行体制を維持する。男鹿・湖東地区の新しい消防組合のほか、県全体の動向を注視し、情報収集や調査・研究を進め、適切に対応していく。

クマの緊急銃猟いつ行う

町長 関係機関と調整し、訓練を行う

小玉 役場庁舎から西磯ノ目を含め五城目高校までの地域では、クマ捕獲のため、箱わなの設置はできないのか。

町長 緩衝帯を整備し、見守り・追い払いを徹底し、情報共有を強化。設置は慎重に判断。

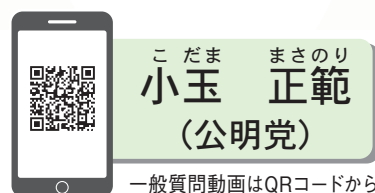
小玉 国土交通省の「クマ被害対策パッケージ」には、河川区域内へのわな設置許可の手続きを速やかに行うように、という趣旨の一文がある。このことから、西磯ノ目に沿った馬場目川の河川敷には、箱わなの設置は可能と考える。

小玉 「クマ被害対策パッケージ」はいつから実施できるのか。ガバメントハンターは可能か。

町長 町の状況に見合った対策を検討する。開始時期は未定。ガバメントハンターの活用は現場の実情に合わせて検討する。

あなたにかわって聞きました

一般質問



ジビエ加工場などの対策は

小玉 ジビエ料理のための加工施設や、その体制を町に作ることはできないか。

町長 ジビエ活用と駆除後の利活用について、捕獲後の運送支援、小規模処理施設の導入など、取組みを検討する方に支援を行う。

小玉 農林水産省では、「鳥獣被害防止総合対策交付金（ジビエ関係について）」の施策で、①ジビエ利用 ②施設整備 ③商品開発・販路開拓、衛生管理認証取得 ④人材育成 ⑤コンソーシアム（共同事業体）への支援などがある。

※詳細は、農水省ジビエ関係施策の確認を。

捕獲→消費の流れ（農水省より）

森林活用のアイディアは

小玉 11月に実施した議員研修では町長も参加し、岡山県の西栗倉村を視察した。本町で参考となる点は。

町長 公共施設への地元産木材活用、村職員ネームプレート、木質バイオマス利活用、おが紛活用の「イチゴ栽培」、木材加工所隣接の木工製品の販売所の取組みである。

小玉 町の山林は杉が大半だが、多様な木工製品を作るため、町有林を活用してヒバや桐を植えるなど、思い切った森林政策はないか。

町長 町有林の一部を対象に、ヒバ（針葉樹）や桐（広葉樹）を含む混交林の実証区を設定し、間伐・管理を行いながら、実証的な混交林の導入を検討していく。

豊富な木工製品が並ぶ店内

紹介したい町の偉人は

小玉 「五城目の誇り すばらしい先輩たち」というホームページには、17人の方が掲載されている。矢田氏の次に紹介したい偉人は。

教育長 17名の中から選ぶのは難しいが、日本のゲート研究の第一人者である木村謹治氏。秋田の風景や人々を愛した日本画家岡栗山氏である。

小玉 大川出身である木村謹治氏はゲート研究のドイツ文学者として東大で教鞭をとり、和独大辞典を日本で初めて編集した功績がある。大川公民館には、書籍・写真などの展示室と顕彰碑があるが、町民や町外の人にも知ってもらうため、町の中心部に展示するべきでは。

教育長 木村氏は東京帝国大学時代の功績から、これほど偉大な町の出身者はいないのではないかと。わーくるでの特設コーナーを設置するなど、大川地区公民館と協働でPRしていく。

木村謹治著 和独大辞典

町民の声を行政に

町長 施策や運営に反映させる

町長 定期的に町内各地区において町政座談会を開催することは、非常に重要である。

町政座談会開催を

石川 町民と行政が直接対話し、意見交換を行い町民の声を施策や運営に反映させる町政座談会の開催が必要では。

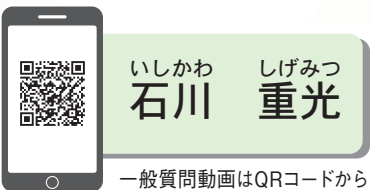
町長 施策をすべての町民に示し、先の町長選挙において、皆さんから信託を賜り、舵取りを担わせていただいた。町民に示したと考えている。

石川 就任から間もなく10ヵ月、5本の柱と45の施策は町民に示されたか。

町長 施策をすべての町民に示し、先の町長選挙において、皆さんから信託を賜り、舵取りを担わせていただいた。町民に示したと考えている。

石川 公約に掲げた5本の柱と45の施策は展開可能か。

町長 任期満了までかけて、進捗、点数ともに100点以上にするを目指す。



今年度は、五城目地区と富津内地区で実施している。また、町内会長からホットラインによる様々な意見や要望を受けている。

石川 町政座談会の開催などで町民の生の声を聴き、町政に反映されるべく、もっと積極的にまちづくりに動くべき。

新年度予算編成をどう進める

石川 経常収支比率が90%を超え、経常経費が大きなウエイトを占める財政状況にあつて、どう政策予算を確保し施策を進めるか。

町長 自主財源に乏しい現状である。国・県の補助金や支援制度を最大限活用するとともに、外部資金の積極的な活用に向けて政策実現に取り組んでいく。

今後のクマ対策は

石川 クマの出没情報は増加の一途で、人や車を恐れない都市型クマが増えている。今後のクマ対策は。

県内市町村でも、緩衝地帯整備後、クマの出没情報が入ってこないことから、一定の抑制効果があると報告されている。本町でも整備を継続するべき。

石川 市街地に出没しないよう緩衝地帯の整備は、人間の生活圏とクマの生息域を分ける「すみ分け」のための仕組みづくりであり、クマの出没を減らす効果的な対策と考えられる。

町長 早朝の通学路の見守り体制の強化、監視カメラの設置・運用の見直しに努め、危険地域をデジタル地図で共有する仕組みを整備する。また、緩衝帯の設置などを継続していく。

整備（やぶ払い）された緩衝帯

クマ対策として街灯整備を

石川 人の生活圏にまで近づくクマ、所在を視認し、被害回避を図るべく街路灯の整備が必要ではないか。

町長 夕方・夜間のクマ出没に伴う不安と被害を抑えるため、緩衝帯の設置、餌となる農作物の管理や街路灯の整備、照度向上による視認性の向上、夜間の安全情報の発信体制の整備に努める。

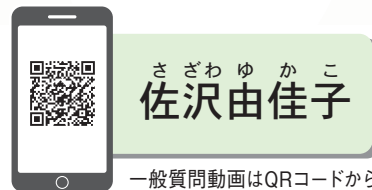
石川 クマ被害は、人命に関わることであり、早急に街灯整備を進めるべき。

夕方の町内道路（神明社付近）

クマの出没情報の一元化を

町長 迅速な情報提供を強化する

佐沢 クマの出没情報については、クマダス・防災行政無線・町登録制メール・学校ごとの連絡媒体など発信元が分散しており、世帯によって情報の届き方に差がある。町民が誰でも必要な時に確認できる情報体制が必要ではない



目撃情報はクマダスへ

か。町公式LINEを整備し、クマダスと連携した出没情報の発信を行ってはどうか。町長の公約である公式LINEの導入について、現在の検討状況と今後の見通しを問う。

教育留学の保護者の居場所は

佐沢 教育留学は注目され利用者も多いが、子どもが学校に行っている間の保護者の居場所がないとの声がある。他県からの来町者に町の魅力を伝える好機である。パンフレット作成や体験型の観光の提案により、町の魅力を感じ、それを発信してもらうなど、商工観光や各課との連携した取り組みが必要ではないか。

町長 コーディネーターが町内の案内などを行っているが、時期によって難しい場合もある。様々な観光プランや

五城目高校のその後は

佐沢 五城目高校の存続策として、昼食支援・授業用PCの購入補助、教育振興会補助金の増額が示されていたが、高校側や保護者・生徒からの反応はどうか。また、これらの取り組みは高校の魅力向上や、次年度の生徒募集に向けたPRにつながるのか。

五城目をより知ってほしい

体験メニューの必要性を感じていた。各課との連携を含めた検討を進め、コーディネーターを増やすなど運営体制の強化を図っていく。

佐沢 魅力向上を目指し、協議は続けられているのか。

町長 協議は続けており、今後も継続していく。現在は教育振興会内に、魅力向上を図るための調査や審議を行う部会を設置するため、会則の改正に向け進めている。

朝市に出店する五城目高校生

陳情と 意見書

12月定例会では6件の陳情書を採択し、意見書を添えて関係機関に送付した。

採 択

◆ケア労働者の処遇改善のため、報酬10%以上引き上げを求め国に意見書提出を求める陳情

採 択

◆「介護保険制度の抜本改善、介護従事者の処遇改善を求める」国への意見書提出を求める陳情書

陳情者
秋田県医療労働組合連合会
執行委員長 奥井 明子
秋田県春闘共闘懇談会
代表委員 奥井 明子

採 択

◆最高裁判決に基づきすべての生活保護利用者に対する速やかな被害回復措置を求める国への意見書提出の陳情書

採 択

◆夜勤規制と大幅増員で安全・安心の医療・介護の実現のため国に意見書提出を求める陳情

陳情者
秋田県医療労働組合連合会
執行委員長 奥井 明子
意見書提出先
内閣総理大臣 高市 早苗様
厚生労働大臣 上野賢一郎様
財務大臣 片山さつき様
総務大臣 林 芳正様

陳情者
秋田県社会保障推進協議会
会長 佐藤 幸美
意見書提出先
衆議院議長 額賀福志郎様
参議院議長 関口 昌一様
内閣総理大臣 高市 早苗様
財務大臣 片山さつき様
厚生労働大臣 上野賢一郎様
総務大臣 林 芳正様

採 択

◆「小・中学校給食費の完全無償化」のため、秋田県へ財政支援を求める意見書提出の陳情

陳情者
秋田県社会保障推進協議会
会長 佐藤 幸美
意見書提出先
秋田県知事 鈴木 健太様

採 択

◆インボイス制度の廃止をめざし、事業者の負担を軽減する経過措置を継続するよう求める意見書を国に送付することを求める陳情

陳情者
秋田県商工団体連合会
会長 小玉 正憲
意見書提出先
衆議院議長 額賀福志郎様
参議院議長 関口 昌一様
内閣総理大臣 高市 早苗様
総務大臣 林 芳正様
財務大臣 片山さつき様

第2回臨時会

令和7年10月22日

- 付議案件
1. 工事請負変更(第2回)契約の締結について
- 令和5年災 廣徳寺橋橋梁災害復旧工事(橋台撤去、新設工事)
契約金額
2億5463万1300円
工期
令和6年10月1日～
令和8年3月27日
2. 専決処分(第7号)の承認を求めることについて
- 令和7年度五城目町一般会計補正予算(第4号)
・災害救助費
総務課 69万円
住民生活課 1542万円
建設課 2246万円
(住宅支援等) 800万円
生涯学習課 105万円
・現年農地農業用施設災害
5億6200万円
・現年林道施設災害
5560万円
3. 専決処分(第8号)の承認を求めることについて
- 令和7年度五城目町水道事業会計補正予算(第3号)
設備の修繕 572万円
4. 専決処分(第9号)の承認を求めることについて
- 令和7年度五城目町下水道事業会計補正予算(第2号)
設備の修繕 74万円
全議案を全会一致で可決、承認した。
- ・現年公共土木施設災害
5138万円
- 上部工の設置が待ち望まれる廣徳寺橋

(椎名 志保)

第5回 議会議員全員協議会

令和7年11月17日

協議案件

- (1) 水道料金及び下水道使用料の改定(案)について
- 水道料金の改定(案)

町内の料金体系を統一し、単年度の収支が黒字化になるように五城目地区の現行の基本料金に対し、改定率を約60%(口径13mm基本料金)で設定。計量法に基づくメータ交換費用などの口径ごとで異なる固定費を考慮し、メータ口径別の基本料金を設定した。

改定後5年を目途とし、経営状況を踏まえながら社会情勢の変化を考慮し、適宜、料金改定の検討を実施していく。

- 下水道使用料の改定(案)

現行使用料に対し、改定率を20%(経費回収率91%、使用料単価150円)に変更し、従量区分についても見直し、少量使用者や子育て世帯に配慮した改定内容とした。

初年度(令和8年度)においては約1200万円の増収を見込む。

改定後5年を目途とし、経費回収率100%を踏まえながら社会情勢の変化を考慮し、適宜、料金改定の検討を行っていく。

報告案件

- (1) 五城目町地域福祉計画・地域福祉活動計画策定について
- (2) こども家庭センター設置について
- (3) 株式会社バイタルネットとの健康づくりに関する連携協定について
- (4) 五城目町恋地スキー場設置条例の廃止について
- (5) クマの出没状況等について
- (6) 県河川の改修事業状況と今後予定される維持工事について

議員研修報告

議会改革の 先進事例を学ぶ

研修名

市町村議会議員研修
「議会改革を考える」先進事例に学ぶ住民参加・情報公開」

研修日 10月20日～21日

研修先

全国市町村国際文化研修所
(滋賀県大津市)

参加議員 椎名 志保

南秋田郡各町村の 財務状況を把握

研修名

南秋田郡町村議会議員大会

研修日 10月28日

秋田財務事務所長の講話

ハラスメント条例 制定に向けて

研修名

五城目町議会主催
ハラスメント防止研修

研修日 10月29日

研修場所 役場 正庁

参加議員 14名、職員19名

株式会社ビー・ウィズ代表取締役 中安留美氏を講師に
(1)コンプライアンスの意識を強く持ち、日常の業務に反映させる
(2)「ハラスメント」に対する正しい理解を深める

具体例を示し講話された中安氏

ハラスメントは「しない、させない、見過ごさない」との意識が必要。公務は、民間よりも高い「倫理観」が求められる。機嫌の良さはマナーである。一緒に働く「仲間」として、相手に対し「一人の人間」として敬意を払っているか、といったことが示された。研修の成果を魂を込めた条例制定につなげていきたい。

(椎名 志保)

あれ？

なんとになったべが！

令和6年12月定例会一般質問より

問

夕方の町内は暗い。街灯設置ルールを決めたのは、LEDのない時代だった。ルール改正をして街灯を増やせないか。

1年前の答弁

街灯設置のルールは古く、再検討する必要がある。今後状況を見極め、適切な時期に検討したい。

現在

町では、約1,700ある街灯を管理し、LED化を進め、照度の改善を進めている。令和6年度には中央線LED化も完了しており、今後順次LED化を進めていく。

夕方の暗い町内道

問

シルバー人材センターの組織を存続させるために、補助金を増額すべきではないか。

1年前の答弁

現在センターの会員数は116人となっている。補助金の増額を含めた支援について協議する。

現在

シルバー人材センターとの協議で、インボイス制度やフリーランス新法によるシルバー人材センターの契約方法の変更などにより、事務局体制の強化を図る必要があることを確認し、令和7年度補助金は増額をしている。

シルバー人材募集の写真（秋田市）

問

農業基盤整備事業の農地相続は、全国的に深刻な問題。国や県に町が働きかけはできないのか。

1年前の答弁

国・県に働きかけ、前に進めていきたい。地域振興局を通じて改めて相談をしていく。

現在

農地相続は事業推進において深刻な問題であることから、これまで同様、国・県に働きかけ要望していく。

農地相続手続きの流れ

問

五城目高校存続のために、県への積極的な働きかけや協議会立ち上げなど町として尽力できることがあるはずだが。

1年前の答弁

県の動向を注視し情報収集に努め、具体的な動きがあった場合には迅速に対応する。

現在

町では五城目高校教育振興会に、高校の魅力化向上を図るための調査や審議を行う部会の設置を働きかけている。第8次秋田県高等学校総合整備計画で再編整備構想が定まれば、五城目高校教育振興会などを通じて意見を参考に、町と高校と県で一緒に、高校の活性化や今後のあり方について具体的に協議していく。

地元の高校を守ろう

議員研修報告

森林事業、先進地から学ぶ

ふるさと五城目会との交流

研修名

五城目町議会議員県外研修

研修日

11月7日～10日

研修先

岡山県西栗倉村
東京都千代田区

参加議員

12名

7日

森林事業の先進地である岡山県西栗倉村を訪問。

生涯学習施設・図書館・役場庁舎が入る「あわくら会館」にて『百年の森林事業の挑戦、森林から始まる村づくり』と題し、西栗倉村役場産業観光課職員より村の概要、目指す村の姿、森林施策などを伺う。

村が2008年に着想した『百年の森林構想』は、「50年育った森林の管理をここで諦めず、村ぐるみであと50年がんばろう。そして美しい百年の森林に囲まれた上質な田舎を実現していこう」と村長が呼びかけ、始められた。木材価格の低下や不在村者の増加

壮大な森林構想に触れる

8日

村内産食材の直売所、レストラン・カフェ、木材ファクトリーショップなどの複合施設「BASE101%—NISHIAWAKURA」を視察。
東京都内へ移動。

9日

第37回ふるさと五城目会総会後の懇親会に参加。
千代田区の樋口区長、秋谷議長も来賓として出席され、千代田区・五城目町関係者、ふるさと五城目会会員と親睦を深める。最後に恒例である盆踊りで盛り上がり、再会を誓い、閉会した。

10日

千代田区神田錦町にある「ちよだプラットフォームスクウェア」を視察。代表を務める丑田俊輔氏の案内により、施設のコンセプトや取り組みを伺う。
夕方帰町。

睦まじく歓談

図書館にも木材を多用

特徴ある階段

村産材がふんだんに使われた役場フロア

にぎやかに鏡開き

屋上庭園を觀賞

（椎名 志保）

（小玉 正範）

わたしの居場所

親愛なる同志たち



ダイナミックにダンシングヒーロー

休憩では雑談に花が咲き、いろいろな情報交換もあり楽しいひとときでした。毎年衣裳も

毎年11月、ミルハスにて秋田県老人クラブ文化祭に出演しています。メンバーは本町の老人クラブ員で構成され、小玉洋子さんの指導の下、17名でダンスビート曲「ダンシングヒーロー」の難題に挑戦しました。

悩みの一つですが、年輪を重ねての知恵の結晶で、みんなで作っています。女性部の一大イベントである舞台を成功させたいという指導者の気持ちを受け、私達も必死にとり組みました。誰も文句を言わない連帯感と、いいものを作りたいという一体感で本番では熱気が観客に伝わり、どよめきと大きな拍手となつて返ってきました。出演後一ヶ月経った今でも好評をいただき、大変ありがたいホッコリしあわせです。

今後の活動

- 文化祭出演者を20名以上にしたい
- 地域福祉大会への出演
- 地域産業祭でのバザー出展



『五老連女性部』

部長 永尾 □□さん

がんばってます

大好き排球



五城目小学校
5年

ささかわ 笹川 □□さん

私は水泳をがんばっています。しかし、五城目町に大きな水害があり、プールが使えなくなり体力を持てあましている時に、お友達にバレーボール部にさそわれました。最初は、あちこちにボールが飛んでいってしまい、まともにボールを返すことができませんでした。バレーボールは、仲間でボールをつなぐスポーツで、チームワークがとても重要になります。五城目スマイリーズは、男女の混合チームですが、みんな仲がいいです。最近では、みんながつないでくれたボールを最後に私がスパイクを打って点をとることができるようになり、とても気持ちがいいです。



がんばれ 五城目スマイリーズ

私は水泳をがんばっています。しかし、五城目町に大きな水害があり、プールが使えなくなり体力を持てあましている時に、お友達にバレーボール部にさそわれました。最初は、あちこちにボールが飛んでいってしまい、まともにボールを返すことができませんでした。バレーボールは、仲間でボールをつなぐスポーツで、チームワークがとても重要になります。五城目スマイリーズは、男女の混合チームですが、みんな仲がいいです。最近では、みんながつないでくれたボールを最後に私がスパイクを打って点をとることができるようになり、とても気持ちがいいです。

今年も町民の様々な活動が広がっていき、well-beingなまちづくりにつながるよう分かりやすい議会広報に取り組んでまいります。

議会広報編集委員会

副委員長 松浦 真 記

編集後記

あけましておめでとうございます。今年^{うま}は午年^{ひのうま}で、60年に一度の丙午の年です。

議会では、議会改革特別委員会を設置するべく様々な議論をスタートさせております。

その中で議会傍聴者が増えたことは喜ばしいことです。町民による傍聴を楽しく進めていく『傍聴族(代表:坂谷彩さん)』の活動が、昨年12月に行われた第1回民主主義大賞の優秀賞に選ばれました。

